

株式会社戸田家

項目	内容
1.企業情報	<ul style="list-style-type: none">● 業種：旅館業● 事業概要：創業1830年（天保元年）の老舗旅館● 事業規模：資本金40百万円、従業員数230名
2.削減目標案	<p><Scope 1・2 の削減目標と削減に向けた取り組み> 目標：2030年に2018年比で20%削減 取り組み：省エネ化の推進、燃料転換及び車両のEV化等を検討する。 SBT水準の削減目標については今後社内でさらに検討を進める。</p> <p><Scope 3 の削減目標と削減に向けた取り組み> 節水器の見直し。</p>

株式会社戸田家

項目	内容	
3.基準年のGHGインベントリ[数値は任意]	<ul style="list-style-type: none"> ● Scope 1・2・3の排出量の状況 	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE1 : 2,846[tCO2]
	<p style="text-align: center;">スコープ/カテゴリ別排出割合</p> <p>The pie chart illustrates the distribution of GHG emissions across three categories. Scope 1 (blue) accounts for 48%, Scope 2 (orange) for 37%, and Category 1 (grey) for 15%. A legend on the right identifies the colors: blue for Scope 1, orange for Scope 2, and grey for Category 1.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE2 : 2,165[tCO2]
		<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE3 : 911[tCO2] 目標の対象セクター : カテゴリ1

株式会社戸田家

項目	内容
4.気候変動によるリスクと機会の分析	<ul style="list-style-type: none">● 規制強化により、排出量削減のための省エネ率の引上げ・設備投資によるコスト増加つながることも懸念される。● 気候変動により異常気象が深刻化し集客に影響が出る可能性がある。● CO2削減目標や削減量を見える化することにより、他との差別化が図れ、信頼性向上と企業評価向上が期待される。
5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など	<ul style="list-style-type: none">● 自社の経営の中で気候変動のリスクと機会を位置づけるため、中期CO2削減目標の策定を計画。今後はSBT水準に整合する中長期削減目標についてさらに検討を進める。● SBT水準の目標を設定することは、顧客や取引先からの削減要請に応えることができ、ビジネスチャンスを拡大すると考えている。(そのためSBT水準の削減目標は今後の検討とする。)

株式会社戸田家

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none">● コスト管理検討会及び経営戦略会議で目標案を検討。経営戦略会議においては、各部門別に温暖化のリスクと機会を検討したことで、野心的な全社目標の必要性を共有できた。● 2030年時点の事業環境の変化は見通せないこともあり、目標の実現可能性について社内で意見があった。しかし社会的要請に応じてバックキャストで目標を設定するという方針を説明し、理解を得た。また、持続可能な社会への構築実現へ貢献できる企業を目指すための重要性について説明し理解を得た。
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none">● Scope 1・2の削減において、再エネ電力を活用し、持続的な調達について検討していくことが必要。● 更なる省エネ推進、設備更新を検討していく。